



# PTA新聞

3月号

発行所/福岡県PTA連合会  
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50  
福岡県吉塚合同庁舎5階  
TEL092-643-7766 FAX092-643-7767  
発行人/松尾 和昭  
編集/広報委員会

県P連ホームページアドレス  
https://fukuokaken-pta.jp



第2回  
福岡県  
PTA連合会

## 「まなびのひろば」開催

福岡県PTA連合会(県P)のスケールメリットを活用し、大人の学びと交流を目的として「第2回まなびのひろば」が1月21日に開催されました。

アグネス・チャンさん講演

「壁にぶつかった時は、夢中になれることを。自己肯定、自己確認で子どもは変わる！」



ボランティアの現場で見た世界の子どもたちの現実

1月21日、アクロス福岡イベントホール(福岡市中央区)にて第2回「まなびのひろば」が開催されました。

開会にあたり、県Pの松尾和昭会長があいさつ。「家庭教育の大切さを私たち大人がしっかりと認識し、今日の学びを各単位PTAの活動に生かしてほしい。コロナとの共存が続く中、子どもたちが安心・安全に過ごせる社会を皆さんと一緒につくっていきましょう」と呼びかけました。

今年度は「新」家庭教育宣言実践報告会も同時開催され、大牟田市立天領小父母教師会、朝倉市立秋月小父母教師会、みやこ町立勝山中PTAがそれぞれ取り組みの内容や成果を発表。有意義な学びの時間となりました。

基調講演は歌手・エッセイストで、ボランティア活動に積極的に参加しているアグネス・チャンさんが登壇。「みんな地球に生きる人」のテーマで講演を行いました。冒頭、「2日後に初孫が生まれる予定なんですよ」と明るい報告があり、会場が拍手と温かい雰囲気になりました。

地で支援活動を続けてきたアグネスさんだからこそのリアルで緊迫感のあるお話は、胸に迫るものでした。



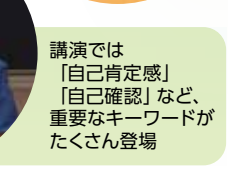
文化や考え方が違ってても歌があったからつながれた

「夢中になれるものがあると、子どもは変わる。チャンスを与えることで、その子の中の力が湧いてくる。大切なのは自己肯定感、そして自己確認」と、自らの経験から語るアグネスさん。67歳になる今も、大好きな歌でたくさんの人を幸せにし、ボランティア活動で自分自身とも向き合いつつ新しい自分になりたい。はつらつとした笑顔で締めくくるとアグネスさんから、たくさん元氣と学びをいただくことができた研修会でした。

アイドル時代と変わらないチャーミングな笑顔と透き通った声に感激する昔からのファンの姿も



講演では「自己肯定感」「自己確認」など、重要なキーワードがたくさん登場




### “新”家庭教育宣言実践報告会 3校のPTA、父母教師会が実践報告を行いました。

●大牟田市立天領小学校父母教師会

テーマ 「子どもと家庭と学校と地域の和(輪)」  
～対話で育む人の繋がりに～

報告者 古賀友昭会長

講師を招いてグループディスカッション形式の研修会を実施。さまざまな意見を共有し、交流できる有意義な時間にする事ができました。



●朝倉市立秋月小学校父母教師会

テーマ 「大人が変われば、子どもも変わる」  
～親子で秋月チャレンジ～

報告者 (右から) 田尻雄輝副会長、秋田将治会長、久保由起子副会長

「生活リズム点検」「親子読書」「早寝早起き・朝ご飯」の3つの親子チャレンジを実施。生活の見直しや親子の絆を深める良い機会となりました。




●みやこ町立勝山中学校PTA

テーマ 「ノーメディアチャレンジ」  
～家庭学習習慣の定着に向けて～

報告者 (右から) 橋本昌典会長、中野智子教頭

SNSやゲーム、インターネットなどに触れる時間を意識的に減らすチャレンジを実施。勉強時間の増加など一定の成果が上がり、今後の課題も見えました。





令和4年度

優良PTA文部科学大臣表彰  
全国小・中学校PTA広報紙コンクール入賞

喜びの声



11月18日、日本PTA全国協議会(日P)の年次表彰式が東京都のホテルニューオータニにて開催されました。令和4年度は福岡県PTA連合会(県P)関係から優良PTA文部科学大臣表彰(団体)が4校、全国小・中学校PTA広報紙コンクールで2校が入賞という輝かしい評価を得ることができました。表彰・入賞に輝いた6校の喜びの声をご紹介します。



※敬称略

優良PTA文部科学大臣表彰(団体)

●朝倉市立福田小学校父母教師会

この度、福田小学校父母教師会が「令和4年度優良PTA文部科学大臣表彰」に選出いただきましたことは、大変光栄なことと会員一同喜びに堪えません。これも子どもたちのために諸先輩方が築き上げてこられた挨拶運動や花いっぱい運動等の「磨心運動」の伝統と、学校・地域とが一体となって地域の宝である子どもたちを育ててきたことが認められた受賞だと考えております。今後も、学校・家庭・地域が一丸となり、今まで以上の努力を重ねてまいりたいと考えております。ありがとうございました。

●朝倉市立甘木中学校PTA

地域と共にある学校づくりを目指して、PTA会員が年間一人1回、割り当てられた期日に参加する「甘木中地域巡回パトロール」を長年実施してまいりました。この活動が評価され、表彰をいただきましたのも、歴代のPTA会長をはじめ会員の皆さまの地道な努力と「後援会」や「双峯会(同窓会)」、地域コミュニティの皆さまの絶大な支援のたまものです。この度の受賞の喜びと関係者の皆さまへの感謝を忘れず、今後とも子どもたちの健全育成のために活動をしてまいります。

●豊前市立宇島小学校PTA

この度は文部科学大臣賞をいただき、誠にありがとうございます。宇島小学校PTAでは、「できる事を できる人が できる時に」をモットーに歴代会長の想いを引き継ぐとともに、学校職員、地域の皆さま一丸となり、「未来ある子ども達」のために活動を続けています。この受賞は、皆さま全員でいただいたものです。皆さまと喜びを分かち合い、今後も「未来ある子ども達」のために、また、「想いを繋げられるよう」精進してまいります。ありがとうございました。

●築上町立椎田中学校PTA

このたび、椎田中学校PTAの行ってきた活動が認められ、文部科学大臣表彰という素晴らしい賞をいただくことができ、大変うれしく思います。この受賞をゴールとせず、先輩方から引き継ぐべきもの、そして、現状及び未来を見据えてPTA会員みんなで協力し、子どもたちにとってより良い生活環境を整えるべく、引き続き学校や地域と綿密に連携し、PTA活動に励みたいと思います。

全国小・中学校PTA広報紙コンクール入賞

日本教育新聞社社長賞

●宇美町立桜原小学校PTA「さくらばる」

「お子さんと楽しみながら記事を書いてください」。PTA会長にいただいた言葉です。子どもたちのアイデアを盛り込み記事にするのが楽しい。PTA新聞は子どもたちの写真で埋めるアルバム的な存在ではなく、情報を広く発信するための手段の1つです。「新聞を配ると教室が静かになって、子どもたちみんな読んでいましたよ」。周囲から反応があると次も頑張ろう!と思えます。みんなで学校の「今」を考え、会話を生むための新聞なのだと思います。



企画賞

●大牟田市立歴木中学校PTA「くぬぎ」

昨年度はまだまだ行事の中止・縮小が多く、何を掲載するか迷い、逆にいつもはできない特集ページを企画しました。「コロナ禍での生活アンケート」と「通学路危険箇所マップ」です。生徒や保護者の皆さん、先生方にご協力いただき完成したので、受賞はとてうれしいです。また、制限ある中でも子どもたちが着実に前へと進んでいる姿や表情を、参観の機会が減った保護者や地域の方々へお伝えできるようたくさんの写真を掲載しました。



◇その他の県P関係の表彰者・団体の一覧は前号(令和5年1月号)をご覧ください。

結 のこころで未来へ!

九Pおきなわ大会

スマホ問題を通して人権に向き合う

第67回日本PTA九州ブロック研究大会おきなわ大会が12月17・18日に沖縄市の沖縄アリーナをはじめ他6会場で開催されました。



初日は大会スローガンの「ひろげ・つなぐ・未来へのリレー ～結のこころで～」をもとに未来を見据えた「PTAの組織、運営のあり方」「家庭教育の大切さ」「広報活動」「PTA活動」などについて6つの分科会が行われました。その中の第4分科会では、うきは市立吉井中学校

PTAが「SNS等の使用による人権に関わる課題の解決に向けたPTAの取組み」という演題で「スマホに係る吉井中家庭教育宣言」の完成までを丁寧に紹介されました。また、コロナ禍でのPTA活動においてICT機器の活用を機に便利さの裏にある人権に係る問題等を子どもとともに学び続けるという言葉に深く感銘を受けました。



2日目の全体会でのお笑いコンビ「ガレッジセール」のゴリさんによる記念講演は、親子ともに心に寄り添う子育てについてユーモアを交えながら語られ会場は笑い感動に包まれました。

(副会長 星野美由紀)



# 令和4年度 ブロック研修会 レポート

11月～2月にかけて、今年度もブロック研修会が開催されました。各ブロック多彩なテーマで、多くの学びを共有できました。

## 北九州ブロック研修会



日時：令和4年12月3日（土）  
会場：マリーホール宮田（宮若市）

演題：「子供が意欲的になる時、そうならない時」  
講師：国立大学法人福岡教育大学 大学院教授 脇田 哲郎  
実践発表：宮田市立宮田南小学校PTA  
テーマ：①みんなで ②かまで ③らいに つながる宮田南小PTA

講演会は講師に福岡教育大学大学院教授で元小学校教諭でもある脇田哲郎先生をお迎えし、先生の専門分野でもある特別活動について経験談も織り交ぜていただきながらお話ししていただきました。最後に先生が「子どもたちが



講演する脇田先生

意欲的になる時、そこには子どもたちのありのままを受け止める大人の存在が不可欠です」とおっしゃったことがとても印象深く、改めて子育てを考えさせられる一言でした。

コロナ禍において、なかなか思うような活動ができない中ではありますが、今後の単位PTA活動の一助になれば幸いです。  
(北九州ブロック会長 安永 秋徳)

## 北筑後ブロック研修会



日時：令和4年11月13日（日）  
会場：サンライズ杷木（朝倉市）

テーマ：心豊かで、たくましく生きる子どもを育むPTA活動  
演題：子どもの生活と「メディア」—デジタル社会に適応するために—  
講師：筑紫女学園大学教授 原 陽一郎  
実践発表：(1) 朝倉市立朝倉東小学校PTA  
テーマ：コロナ禍における「つながり」を重視したPTA活動  
(2) 朝倉市立杷木中学校PTA  
テーマ：変化に対応するPTA活動をめざして

会員約500名にご参加いただき、3年ぶりに対面で開催できました。132件のアンケート回答では、ほとんどの方から内容や運営に高評をいただきました。



あいさつする角田会長

特に、原教授のご講演には、「子育てや指導に大変役立つ内容でした。」との旨の感想が多く寄せられました。また、2校の実践発表には、「役員と生徒会との意見交換会」「コロナ禍でのふれあい行事の実践」「会員減に対応した取組方法の改善」に称賛と共感の声が寄せられました。

(北筑後ブロック会長 角田 昭一)

## 福岡ブロック研修会



日時：令和4年11月26日（土）  
会場：宗像ユリックス（宗像市）

テーマ：「子どもの縁」を取り戻す  
子どもが主体として地域を生きるために  
私たちができること with コロナ  
講師：北九州市立大学文学部人間関係学科准教授 山下 智也

コロナ禍で子どもが地域とつながる機会が減っています。子どもと地域の「縁」を取り戻すために私たち大人に何ができるのか、山下智也先生の講演&グループワークで考えました。現地では他校の役員と歓談する姿や思いがけず



山下先生の講演の様子

旧友と再会する姿が見られ、研修会は親睦を深める場でもあると再認識しました。

一方、オンラインは音声不調等で研修に参加しにくい状況になってしまいました。ハイブリッドで行うためには運営技術の蓄積が必要と感じました。

(福岡ブロック会長 林 聡子)

## 京築ブロック研修会



日時：令和4年12月4日（日）  
会場：サン・グレートみやこ（京都郡みやこ町）

実践交流会：(1) 荻田町立南原小学校PTA  
テーマ：学校、家庭地域が連携したPTA活動をめざして  
(2) 豊前市立角田小学校PTA  
テーマ：学校、家庭地域とつながるPTA活動をめざして  
講師：西九州大学非常勤講師 吉村 春生  
演題：心がかげをひくととき～安心感と自立～

前半に実践発表、後半に吉村春生先生の講演を行いました。参加者の実践発表の感想では「コロナ禍にあって、2校が工夫して活動をしていることがよくわかりました」「規模の違う学校のPTA活動の様子を知ることができました。新たな活動や活動の見直しのヒントをいただきました」等、参考になったとの意見が多くありました。



実践発表の様子

講演の感想では「楽しく、有意義な話でした。また、吉村先生のお話を聞きたいなあと思いました」「自分の子育てを反省するとともに、今後自分の言動に気をつけていきたいと思いました」等、参加者の90%が大変良かったとの意見でした。また、研修会後1カ月間のオンデマンド配信が好評でした。(京築ブロック会長 浦山 剛)

## 南筑後ブロック研修会



日時：令和4年11月27日（日）  
会場：サザンクス筑後（筑後市）

テーマ：家庭・学校・地域でつながり、学び合う南筑後PTA  
～子どもたちの笑顔のために～  
アトラクション：福岡県立八女高等学校 吹奏楽部演奏  
実践発表：筑後市立水田小学校PTA  
テーマ：「訳あって少し変えました」  
演題：「自信とやる気を引き出すプラスの問いかけ～自己肯定感を育てる関わり～」  
講師：家庭教師システム学院代表 長谷川 満

令和4年度の南筑後ブロック研修会はPTA会員約850名（オンライン配信含む）が参加しました。全国で講演活動を行われている長谷川満氏が講演し、その後のアンケートで「心に響く言葉をたくさんいただきました」「こどもを尊敬



八女高校吹奏楽部の演奏

するという考えかたは、今まで思ったこともなかったので参考になりました」「幸せは、みんなが笑顔でいること！」などの感想が寄せられました。今回の研修会が、今後のPTA活動の活性化を促し、PTA会員の資質向上につながる一助になれば幸いです。

(南筑後ブロック会長 中島 征弘)

## 筑豊ブロック研修会

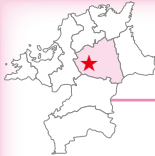


日時：令和5年2月12日（日）  
会場：田川市文化センター（田川市）

テーマ：共に歩もう～今を生きる子どもたちのために～  
講師：椎葉 ユウ  
演題：子どもの可能性は無量大

★筑豊ブロック研修会のレポートは次号（令和5年5月号）で掲載します。





### 輝け桂川の子どもたち

【筑豊】桂川町立桂川東小学校

桂川町のPTA連絡協議会では、例年桂川町教育委員会と共催で桂川町教育シンポジウムを実施しておりました。しかし、コロナ禍の影響で令和2・3年度は実施できませんでした。今年度、3年ぶりに教育シンポジウムを実施することができました。

教育シンポジウムの開催にあたっては、教育委員会をはじめ、桂川中学校・桂川小学校・本校のPTA役員や先生方に協力をいただきました。シンポジウムでは、講師に武藤芳照先生（東京健康リハビリテーション総合研究所所長）をお招きして、「健康づくりの常識・非常識」の講演テーマでお話をいただきました。

コロナ禍での開催でしたが、本校の体育館にPTA会員だけではなく、町内外の地域の方々や医療関係者等、160名以上の参加があり、武藤先生のお話を熱心に聴かれました。

来年度も3校で協力して、教育シンポジウムを開催していきたいと思っております。

（桂川東小PTA会長 中園元親）



武藤芳照先生の講演の様子



もちつき開催を願って行った大豆の種まき



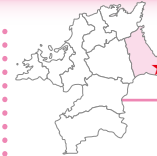
### コロナ禍に負けない活動を

【北九州】鞍手町立剣南小学校

剣南小学校PTAは、子どもたちを後押しする応援団として学校・保護者・地域が連携して子どもの学校生活や学習が安全に充実したものになるよう活動しています。しかし、ここ3年間は、コロナ禍のためこれまで行っていた活動を進めることができず、とても残念に思っています。なかでも、PTA活動の最大イベント「もちつき大会」が中止となり子どもはもちろん、保護者も地域の方々も残念に思っていました。今年度こそはと、もちつき大会開催に向けて、自分たちで育てた大豆で作ったきなこを味わわせようと7月に大豆の種まきを行いました。畑作りからPTAが関わり、子どもと保護者による大豆の種まきを行いました。夏休みの水やりや除草作業など学校が休みの間も積極的に関わっていただきました。しかし、残念ながら今年度ももちつき大会は中止となり、きなこ餅の夢は来年度へと持ち越されました。

今年度は、保護者アンケート等を実施し、コロナ禍でもできるPTA活動はないか見直しを行いました。このアンケート結果を活かし、これからも子どもたちの笑顔のために、学校・保護者・地域が一体となってPTA活動を充実させていこうと思っております。

（剣南小PTA会長 大瀬戸彩）



### 地域の方々に支えられて

【京築】上毛町立西吉富小学校

西吉富小学校は、児童数111名の小規模校です。上毛町全体で取り組んでいる「あいさつ運動」にも力を入れ、朝の通学時に地域の方が所定の場所で「おはようございます」の挨拶を行い、子どもたちの登校を見守ってくださいます。コロナ禍においてマスクをしている子どもたちの表情は分かりにくいですが、挨拶をすることによって子どもの様子（心や体の変調）を温かく見届け、時には学校に知らせてくれます。地域の方の協力のおかげで子どもたちは「安心・安全」な登校ができています。

西吉富小学校では、子どもたちの農業体験活動にも継続して取り組んでおります。全校児童が参加する芋畑での芋の苗さしや収穫。5年生が行う田植えや稲刈り。大自然に囲まれ、恵まれた地に学校があってこそこの体験活動です。

これらの活動はPTAだけではできません。子どもたちがさまざまな取り組みで、いろいろなことを経験し、健やかなる成長を育めるのは地域の方々の支えあってのことです。故郷・地域に感謝し、楽しい学校生活を送れるよう活動を継続していきたいと思っております。

（西吉富小PTA会長 小野勝幸）



手で刈った稲穂をコンバインで脱穀

### 県教委通信

# 地域を元気にし、地域の未来を担う子どもを育てよう

地域と学校がパートナーとして連携・協働し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える「地域学校協働活動」が県内各地で取り

組まれ、放課後の学習支援や体験活動、地域課題解決学習や郷土学習など、地域の状況に応じて多様な活動が展開されています。

桂川町では、地域の「王塚太鼓」をこれからも継承していくこと、裾野を広げていくことを目的として、地域の指導者が小学生や中学生を対象に「太鼓の指導」を行っており、子どもたちが地域を誇り

に思いつきかけづくりとなっています。

筑後市立筑後北小学校では、小学生が自分たちの描く町の未来を、地域住民に提案する学習活動を実施し、自分たちの住んでいる町を地域住民とともによりよくしていこうとしています。

このような学びは、地域を元気にし、地域の未来を担う子どもを育むことにもつながります。今後とも、「地域学校協働活動」へのご理解とご協力をお願いいたします。（社会教育課）



地域の方による太鼓指導



地域の方に発表する小学生



### 事業報告と組織の見直し

【北筑後】筑前町立三輪中学校

コロナによる規制も徐々に緩和され、学校行事やPTA活動も以前の姿を取り戻しつつあります。三輪中学校では、年間行事として、年12回のあいさつ運動、通学路危険箇所点検、父母による高校視察、愛校除草作業、学校内の花植え作業、広報紙の作成等、幅広く事業を行っています。

「あいさつ運動」は町と一体になった取り組みとなっており、早朝に校区全体でかなり力を入れて行っています。また、通学路危険箇所点検においては、危険箇所として指摘したところが行政によってすぐに改善されたケースもあり、一定の成果が挙げられました。写真は、校内の花植え作業の様子です。毎年冬にパンジー等の花を植えて校内に飾っています。

今年、主として取り組んでいるのは、PTA組織の見直しです。①不必要な事業を行っていないか、②委員会の役員数が過剰になっていないか、③本部役員の任期年数2年は妥当なのか、ということを検討しています。年度末までには一定の結論を示す予定です。可能な限り役員や教職員の負担を減らし、参加しやすく楽しいPTA活動を行っていきたくと考えています。

(三輪中PTA会長 半田裕一)



校内の花植え作業の様子



全校で踊った「がたいね節」

### がたいね節の復活

【南筑後】柳川市立両開小学校

両開小学校は柳川市の最南端、有明海に面した干拓地に位置し、のどかで豊かな自然環境に恵まれた地区にある学校です。そのため昔から干拓にまつわることを小学校で学んできました。

「がたいね節」とは、当時の干拓の仕事の様子や人々の気持ちを表現した歌・踊りであり、「がた」は海の泥のことで「いね」はかつぐということだそうです。当時、干拓作業に従事している人たちが「がたをかついで海に泥を運ぶ」作業をしていたところ、あまりにきつい作業なので気を紛らわせるために歌った歌が原型と聞いています。その後、振り付けがされ、今の時代まで伝承されています。

以前は毎年運動会で踊られていましたがいつの頃からなくなり、今年から復活しました=写真。

先生方、地域の方、PTA理事で協力し、音源・振り付けの確認等を行いました。156名の子どもたちが踊っている姿は圧巻であり、見ていてとても懐かしい気持ちになりました。これからもこの踊りを継承していけるよう取り組んでいきます。

(両開小PTA副会長 成清太郎)

### 3年ぶりのフェスタ開催

【福岡】新宮町立新宮東小学校

11月12日、保護者ボランティアの皆さま、地域の皆さまのご協力のおかげで、3年ぶりに「東っ子フェスタ」を開催することができました。できる限りの感染対策を行い、子どもたちの思い出に残るようにと、大きく3つの活動を工夫して行いました。

- ①音楽鑑賞
  - ・「新宮東中学校吹奏楽部」の演奏動画
  - ・「太鼓原人」の皆さまによる演奏
- ②東っ子クイズ (=写真)
  - ・地域の「ちょっと待って隊」大牟田さんに作成していただいた新宮東小学校の歴史やゆかりのある人物にまつわるクイズ
- ③体験活動
  - ・7つの体験コーナー【希望選択】(シャボン玉、乾電池づくり、しおり作り、ビリビリ棒・工作、スライムづくり、サッカー・野球、プログラミング)

どの活動の中でも、学校教育の重点目標である、子どもたちの【にこにこ】あいさつする姿や【わくわく】しっかり聞く姿がありました。たくさんの方々に支えられ、子どもたちはしっかりと育っています。

子どもたちのために、来年度もぜひ開催したいと思います。

(新宮東小PTCA会長 高津レミ)



地域の方によるオンライン「東っ子クイズ」

4/16日

★単P役員の皆さんへ★

令和5年度 PTA役員研修会

単位PTAの活動に役員として携わる方を対象に、PTAの現況・課題等を共有し、意見交換をすることで、活動への意欲を高めることを目的とする研修会です。

- 日 時／令和5年4月16日(日)  
12:30～(12:00開場)
- 会 場／ユメニティのおがた  
(直方市山部364-4)
- 参加対象／令和5年度 単位PTA会長・副会長・役員(旧役員を含む)・教職員
- 開催方式／現地開催

パネルディスカッション

テーマ

魅力ある  
PTA活動を目指して

★研修ではいま関心の高い「任意加入」についても説明が行われます。今回は現地開催のみでオンライン配信はありませんので、ぜひご参加ください。

※お車でお越しの際は、駐車場台数に限りがありますので、なるべく乗り合わせてご来場ください。

PTA活動応援!

PTAを

楽しむための

本

おすすめ!

使えるワザがいっぱい!  
基本の一冊

¥1,700(税込) ★PTA会員特別価格

PTA活動に必要な全ての知識を凝縮!  
全ての疑問にお答えします!

Q: 文書の作りかたがわからない!

Q: 会長挨拶何を書けばいいの?

Q: 文書の作りかたがわからない!

Q: 文書の作りかたがわからない!

Q: 会長挨拶何を書けばいいの?

Q: 文書の作りかたがわからない!

他にも役立つ書籍があります!  
日本PTA全国協議会ホームページまで!

PTAの困った!  
を解決します



新企画

Pick Up!

こんな取り組みをしています♪

# PTA活動レポート

単位PTAで取り組まれているユニークな活動をご紹介します!

## 筑後市立水田小学校

### 憧れの職業への夢がふくらむ!

## 卒業生がレクチャーする夢授業

11月18日、筑後市立水田小学校にて創立150年を記念して「夢授業」が開催されました。

インターネットに掲載されている「小学生がなりたい職業」のうち、建築士や自衛官、医師など20種類の職業を選出し、水田小学校卒業生でそれらの職業に就いている方が「先生」となり、仕事の内容や仕事に就く方法などを説明されました。

授業は普段使われている教室の他、体育館や校長室に分かれて行われました。4・5・6年生合計90名の子どもたちは、興味がある職業を3つ選び、熱心に先生の話聞いていました。

夢授業は歴代のPTA会長で構成された実行委員会で準備が進められま

した。実行委員長の下川さんは、筑後市教育委員会教育委員として他校を訪問した際に、ある校長先生が卒業生とインターネットで通信しているのを見て、この企画を提案されたとのこと。

「一人の先生を招いて体育館などで話を聞くのも良いが、コロナ感染のリスクがある。しかし、この形ならば各教室に分散できるので感染リスクを軽減できる上、子どもたちそれぞれが聞きたい授業を選ぶことができる」と下川さん。

コロナ感染対策のデメリットを大きなメリットに転換された、とても良い事業だと感じました。

(広報委員会・金子 隆)



いい匂い!



ヘアメイク

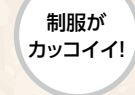


建築士



看護師

制服がカッコイイ!



警察官



陶芸家

こんな道具を使うんだ~



公務員市役所



大工



新幹線運転手



小学校教師

保育士

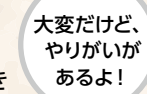


キャビンアテンダント



消防官

大変だけど、やりがいがあるよ!



薬剤師



高校教師



営業マン



理学療法士

## 糸島市立志摩中学校

## 対抗マッチでクラス一丸に白熱のeスポーツ祭!



生徒会の皆さんが作った志摩中学校独自のロゴは、株式会社戦国の西田社長や福岡eスポーツ協会の中島会長も褒めておられました。



12月16日、志摩中学校PTA、志摩中学校、福岡eスポーツ協会、プロeスポーツチーム「Sengoku Gaming」(株式会社戦国)の共催でeスポーツ祭を開催しました。

この大会は、コロナ禍でPTA活動や学校行事の多くが中止になる中、生徒たちが交流できる場として実施しました。

生徒たちが競技したのは車を操作してサッカーを行うゲーム。4人1チームとなって対戦し、会場は真剣な表情と元気な声、そして明るい笑顔であふれました。特に3年生は、受験前で練習もろくにできなかったと思われるが、一番楽しく競技をしていました。賞状を渡し、MVPの生徒を全員でたたえる光景はとても気持ちがよく、感動的でした。

試合のない時間を利用し、株式会社戦国とeスポーツ協会からゲーム依存症などの分野も含めたeスポーツ講座も生徒たちには勉強になったようです。生徒からは後日「eスポーツは初めてだったけど面白かった」「ゲームを通してクラスがひとつになれた」「プロゲーマーも努力してきたんだなって分かった」などの感想が寄せられました。

eスポーツは将来の五輪種目ともいわれており、ICTへの関心にもつながります。その魅力が糸島市の他の小・中学校にも広がり、盛り上がっていくことで、地域の活性化にもつながっていくことを願っています。

(志摩中PTA会長・堀部尚孝)

### 単位PTAの活動報告 大募集!

あなたのPTAのユニークな取り組みや楽しい活動を教えてください!  
県P新聞や県Pホームページ等でご紹介します。  
県P新聞取材班が取材に伺う場合もあります。

#### 応募方法

県Pホームページの「お問い合わせ」フォームより、学校名・氏名・ご連絡先・活動内容の詳細を明記し送信してください。  
掲載の場合は事務局よりご連絡します。



TV局や新聞社の取材も受けました!



左から、戦国社員・吉村拓也さん、戦国社長・西田圭さん、福岡eスポーツ協会会長・中島賢一さん、戦国社員・石井峻さん、中島大地さん



# 福岡県PTA連合会「小・中学生総合保障制度（こども総合保険）」

偶然な事故による

## ケガをしても



### 傷害補償

偶然な事故による  
お子様のケガに備えます。

## ケガをさせても



### 個人賠償責任補償

法律上の  
損害賠償責任に備えます。

# まさか！の時でも、安心です。

自転車事故により、**高額**の損害賠償金の支払いを命じられた事例も発生しています！！

詳しくは、3月初旬に学校より配布されます「小・中学生総合保障制度」パンフレットをご覧ください。

この制度の詳しい内容はこちらからも確認いただけます

AIG損害保険株式会社

『お子さまのための総合保障制度』

<https://riskfinder.jp/school/>



## お問い合わせ：0120-228-553

受付時間 平日 午前9時～午後5時

- 制度取扱代理店：株式会社コーリン（福岡県PTA連合会保障制度事務局）〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目3-5 セレス薬院5F
- 制度引受保険会社：AIG損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社  
三井住友海上火災保険株式会社 Chubb損害保険株式会社

この広告は「小・中学生総合保障制度（こども総合保険）」の概要についてお伝えしています。ご加入の際は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご覧ください。





山際千津枝の

— マングースの独り言 —

Vol.114

# 食べるってなあに

短大を卒業して栄養士の免許を取得して保健所の手伝いなどしていたら、何を勘違いされたのか料理を教えてと言われて、突然、先生と呼ばれる身になった私。短大では調理実習は週1度程度、家の手伝いなど全くしなかったので正直にいうと料理は下手でした。

私は大慌てで、付け焼き刃的な料理の練習を始めました。にわか仕立ての先生だから、教室前の恐怖は半端ではありません。大の勉強ざらいだったはずの私がいきなり猛勉強。教える料理を繰り返し作り、教室で喋ることを「おはようございます」というところから全て原稿にし、質問を予想して、その日に使う食材の栄養価や特徴を調べました。グーグルなどで調べられない時代、本箱に本があふれました。

ところが先生と呼ばれるようになってから十数年がたったころ気がつきました。質問する人が少ないのです。ほぼいないといってもいいくらい。質問ありませんかと声をかけると、気のせいかな部屋が凍りついたようになります。

思い出しました。私は人生で2度、質問で嫌な思いをしました。

1度目は学生の頃19歳。教育実習で5年生を担当することになったのですが、教育委員の方が質問ないですかと言われた時に数百人の学生がシンとしたのです。そこで調子乗りの私、ハイと手をあげて大勢の視線を

やまぎわ・ちづえ

食をコミュニケーションツールと考えている料理研究家。その他エッセイスト・テレビラジオのコメンテーター。現在は博多阪急デパートにおいて地下食品販売部アドバイザーを務める。

## 質問は全て尊いです



浴びながら質問しました。指導素材に紙芝居を作ろうと思うのですが5年生に紙芝居は子ども扱いしすぎでしょうかと…。何が気に食わなかったのか指導教官は烈火のごとく怒りました。「学年別に何をしろという資料を作って渡せというのか」と…。そんなこと、これっぽっちも言っていないのに、私は溶けてなくなりたいほど打ちのめされました。

2度目は大人になって勉強会で質問した時。その内容はページの都合で書きませんが、鼻でせせら笑われました。ニヤニヤしながら「そんなこと聞いたこともない」…私は顔が炎上しました。

とても不快な記憶ですが、おかげで私は質問者に優しくなれた気がします。そんなの自分で調べなさいよと言いたくなることでも勇気を出して手をあげてくださったと思うとうれしいです。内容のある質問だと、その場の全員に役立ちます。

質問することはとても勇気がいります。バカな質問と言われる怖さもあります。

どんな質問も尊いです。それを否定するのは答える側の余裕のなさかもしれません。質問はその人を成長させ周囲を豊かにし先生を鍛えてくれます。

質問力を磨きましょう。

# 古代体験で歴史を身近に

## 九州歴史資料館



九州歴史資料館の外観



第1展示室



作業風景の見学の様子



古代体験の和同開珎鑄造体験

九州歴史資料館は福岡県立の歴史系博物館です。福岡県を中心とする九州の歴史とその特質を明らかにするため、古代九州を統括した「遠の朝廷 大宰府」の発掘調査をはじめとして、多角的に各種文化財の調査・研究を行っています。2010年小郡の地にリニューアルオープンした当館では、大宰府史跡等の出土品をはじめ、仏像や古文書など県内を中心とした貴重な展示物によって、古代から近代に至る歴史をたどることが出来ます。

# ものづくりやVRで 楽しみながら学べる

また、毎週日曜日には子どもから大人まで楽しめる、和同開珎の鑄造体験や瓦マグネット作り(有料)、古墳の中に入ることが出来るVR体験や拓本採り(無料)などを楽しめる古代体験を行っています。歴史を身近に感じることが出来ます。このほかにも、秋の「古代体験まつり」など多くの子ども向けの体験イベントも行っています。

※和同開珎(わどうかいじん)と読みます

## 九州歴史資料館

福岡県小郡市三沢5208-3

TEL 0942-75-9575

<https://kyureki.jp>



- ◎開館時間/9時30分～16時30分 (入館は16時まで)
- ◎休館日/月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始
- ◎駐車場/無料 乗用車90台 大型バス用駐車場あり
- ◎交通アクセス/【車】九州自動車道筑紫野I.C.、大分自動車道小郡I.C.から約15分  
【鉄道】西鉄：天神大牟田線三国が丘駅から約700m  
JR：鹿児島本線原田駅下車タクシーで約10分
- ◎観覧料/一般210(150)円 高大生150(100)円  
中学生以下・満65歳以上の方、障がい者等とその介護者1名無料  
(土曜日は高校生も無料)

※( )内は、20名以上の団体料金。

## 超 県P委員のひとりごと

物価が上がっている…給料は上がらない…生活が苦しい…忙しい。こどもと接する際にゆとりを持って接する時間、日々の仕事に追われたり、時間や締め切りを追われていると、豊かな心で他者に接することが難しいことありませんか？

私は、冷たくあしらってしまっているかもしれません。『はっ!!』として、『ごめんね、なんやった?』ってことがあって猛省しました。大きく深呼吸をして、背伸びをしたり、ホッと一息ついて、自分にも、家族にも、誰にでも、優しく接する心の笑顔を、私は持ちたい。

(家庭教育委員長 大藪耕士)